



成隣だより

令和3年10月29日
第7号
昭島市立成隣小学校
校長 星野 典靖

スマイルコミュニケーション ～笑顔大切に～

副校長 神宮 正和

今年度、成隣小学校に着任してから、早いもので、もう7ヶ月が過ぎました。

4月6日の始業式。成隣小学校のシンボルでもある大きなけやきの木を前にして、着任の挨拶として全校児童に向け「たくさんの笑顔を見付けていきたい」と伝えました。学校として、新型コロナウイルス感染症対策の徹底を図る中で、マスクをしての生活が続く中ですが、これまで多くの子供たちの笑顔と出会うことができました。

6月の水泳の授業では、クラスごとの授業の実施ということもあり、様々なクラスに関わる機会をもつことができました。昨年度は、実施できなかったこともあり、3年生以上の子供たちは、2年ぶりの成隣小プールでの授業で、本当に楽しそうな笑顔でいっぱいでした。小学校での初めての水泳授業となる1・2年生も楽しそうに水に親しむ様子が見られました。

そして、先日の「セイリンピック2021」。運動会当日を迎えるまでの練習のなかで、お互いの練習の様子を見合う場面がありました。本番のような気持ちで、全力で取り組むそれぞれの発表に、見学している学年の子供たちからは、大きな拍手が起きました。そこには、相手意識をもち、演技をやりきった発表学年の子供たち、そして、拍手を送る子供たちの笑顔にあふれていました。高学年の練習を見学し終えた低学年の子が、友達に「見るのも勉強なんだよ。」と話している様子を見て、かけがえのない学びの時間を過ごしていることを実感しました。

運動会当日には、今度は、保護者のみなさんの前で力強く踊り、全力で走る子供たちの姿がありました。拍手を受け、退場する子供たち、そして、見守る保護者の方々。アイコンタクトではありますが、会場は、多くの笑顔に包まれていました。

11月以降も、新型コロナウイルスへの対策を図りながら、校外学習や学習発表会に向けての準備、そして12月上旬の6年生の日光移動教室と様々な学習活動が予定されています。

これまでとは違う新しい形を探しながら、大切な学びの場で、たくさんの「笑顔」が生まれる教育活動の実践を教職員一同、目指していきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。